

平成26年度 第1回

鳥栖市文化財保護審議会

1. あいさつ

2. 議 題

(1) 平成25年度事業報告 …………… 1～8

(2) 平成26年度事業計画 …………… 9～10

3. その他

日 時 平成26年5月23日(金)
午後2時～

場 所 鳥栖市役所2階第2会議室

鳥 栖 市 教 育 委 員 会

1. 平成25年度事業報告

(1)調査

- ① 埋蔵文化財包蔵地内における開発行為99件について事前審査を行い、うち70件の確認調査、3件の工事立会を実施した。このうち村田三本松遺跡(村田町)と藤木遺跡(藤木町)の2件については本調査を実施し、開発と文化財保護の調整に努めた。〈4～11ページ〉
- ② 平成24年度の文化財事業の概要と平成3年度に実施した儀徳遺跡の調査報告を所収した文化財年報を作成・刊行した。
- ③ 文化資源充実事業について、事業の全体計画の取りまとめを行った。また、事業の拠点施設とすべく、市誌資料室の改修に伴い、調査・研究スペースや所蔵資料管理体制の再整備を行った。

(2)保護・管理

- ① 平成25年3月27日付で諮問のあった「対馬宗家田代領関係資料」の鳥栖市重要文化財指定の件について、平成25年5月21日付で指定の答申を受け、教育委員会の議決を経て平成25年6月12日付で指定した。
- ② 指定文化財(国2件、県2件、市他14件)等の管理を、所有者や地元団体に委託又は、補助を行い、保護に努めた。
| 田代太田古墳の樹木と竹の伐採を行い、遺跡の保存、管理を行った。
- ③ 文化財防災啓発の一環として、3月23日に曾根崎町老松神社境内で消防訓練を行った。〈写真A〉
- ④ 史跡等の管理として安永田史跡公園等の下草刈りを行なうとともに、赤坂古墳・柚比本村遺跡の説明板の修繕を行った。
- ⑤ 装飾古墳の田代太田古墳・ヒャーガンサン古墳で、温湿度変化のデータ収集、目視による環境観察を行った(熊本県立装飾古墳館の協力により平成22年12月から継続)。

(3)普及・啓発

- ① 市重要文化財の268号機関車の公開を、鉄道OB会鳥栖支部の協力を得て、5月11日、11月10日、3月1日に行い、合計1100人の見学者があった。〈写真B〉
- ② 装飾古墳の田代太田古墳・ヒャーガンサン古墳の一般公開を12月1日に行ない、延べ220人の見学者があった。ヒャーガンサン古墳には、これ以外で年間約400人の見学があった。〈写真C〉
- ③ 鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座『鳥栖の集落と交通』を全8回開講し、合計301名の参加があった。

- ④ 勝尾城筑紫氏遺跡を核とする地域の歴史と文化財を活かしたまちづくりを市民と協働して目指す「ふるさと元気塾」を開講し、ボランティアガイドの育成を行った。
- ⑤ 市民一般を対象に、市誌編纂のため収集した古文書をテキストにした古文書解読講座を開講し、延べ390人の参加があった。
- ⑥ 新たに市重要文化財に指定された「対馬宗家田代領関係資料」とその関連資料を展示する文化財成果展を3月1日～13日に鳥栖市立図書館で開催し、450人の観覧者があった。〈写真D〉
- ⑦ 小中学校教育における総合的な学習の支援を行い、安永田遺跡・剣塚古墳・ヒャーガサン古墳等の史跡、あるいは旭文化財収蔵庫において考古資料や民具類等を公開したほか、郷土の歴史・文化財や自然分野についての質問対応などを行った。

(4)勝尾城筑紫氏遺跡

- ① 史跡整備基本計画に基づき、葛籠城跡地区整備に伴う土地公有化事業に着手し、対象地区125,089㎡のうち、34,657㎡について公有化を行った。
- ② 史跡の整備・管理の一環として、史跡内の樹木伐採・下草刈りを行った。〈写真E〉
- ③ 遺跡見学会を5月27日と11月25日に行い、207名の参加があった。〈写真F〉

(5)会議

- ① 文化財保護審議会は、第1回を5月21日に開催し、新指定市重要文化財の答申と平成24年度事業報告と平成25年度事業計画について報告した。第2回は11月29日に開催し、基山町の特別史跡 基肆(椽)城跡水門跡と筑紫野市の史跡 五郎山古墳の現地視察を行った。
- ② 勝尾城筑紫氏遺跡保存整備委員会は、第1回を5月24日に開催し、平成24年度事業報告と平成25年度事業計画および葛籠城跡地区の公有化事業について報告した。第2回は2月18日に開催し、平成25年度事業経過報告と葛籠城跡地区重要遺跡確認調査予定地区の現地視察を行った。

また、勝尾城筑紫氏遺跡地元協議会を、11月27日に開催し、啓発普及活動・管理と史跡公有化の進捗状況について報告した。



A 文化財防災訓練



B 268号機関車一般公開



C 装飾古墳見学（総合的学習支援）



D 文化財成果展



E 勝尾城筑紫氏遺跡の下草刈り



F 勝尾城筑紫氏遺跡見学会

平成25年度確認調査により遺構・遺物を検出した地点

	遺跡名	原因者	開発目的	開発予定地	工事面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査期日	結果	備考
25	京町遺跡	(株)地産開発	宅地造成	本鳥栖町字下鳥栖633-10外	6,221	365	7月30日 ~8月7日	土坑、小穴等	計画変更
26	花の木遺跡	個人	駐車場	古賀町字花ノ木556、557-1	1,972	175	8月6日	土坑、小穴	遺構に影響を及ぼさないため慎重工事
44	村田三本松遺跡	個人	個人住宅	村田町字五本松878-4	770	23	10月10日	甕棺墓	本調査実施、P5参照
52	儀徳遺跡	積水ハウス(株)	宅地造成	儀徳町3100-1外	6,902	356	11月6日 ~12日	土坑、溝等	協議中
53	藤木遺跡	鳥飼建設(株)	宅地造成	藤木町字北浦1097外	1,974	103	11月26日	溝	本調査実施、P6~7参照
54	上鳥栖遺跡	個人	個人住宅	本鳥栖町字下鳥栖511-6	198	12	11月28日	溝、小穴	遺構に影響を及ぼさないため慎重工事
55	今泉遺跡	個人	個人住宅	藤木町2365-7、2363-11	201	15	11月28日	住居跡	遺構に影響を及ぼさないため慎重工事

村田三本松遺跡

【所在地】 村田町字五本松 878-4

【遺跡の時代】 弥生時代

【種類】 墳墓跡

【調査面積】 約 80 m²

【事業の原因】 個人住宅

【調査期間】 平成 25 年 11 月 20 日～12 月 21 日

【調査の概要】

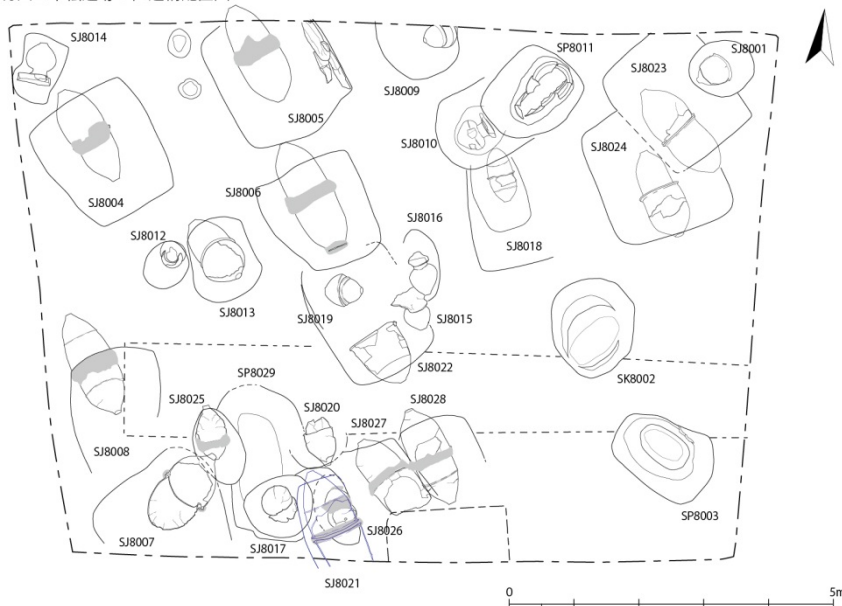
当該地は、沼川左岸の標高約 17 m の河岸段丘上に立地する。主に長崎街道以南に分布する村田三本松遺跡の北縁に当たる。

調査の結果、弥生時代前期末～中期後半の甕棺墓 25 基、土壙墓 3 基、土坑 1 基を検出した。このうち調査区北西に位置する SJ8005 号甕棺墓の上甕口縁部付近から銅矛とみられる切っ先が出土した。

甕棺墓の一部は、埋置の角度を同じくして列状に並んで調査区外に延びる様相を示している。



村田三本松遺跡 8 区遺構配置図



藤木遺跡

【所在地】 藤木町字北浦1097

【遺跡の時代】 弥生時代

【種類】 集落跡

【調査面積】 約350㎡

【事業の原因】 宅地造成

【調査期間】 平成26年1月30日～3月28日

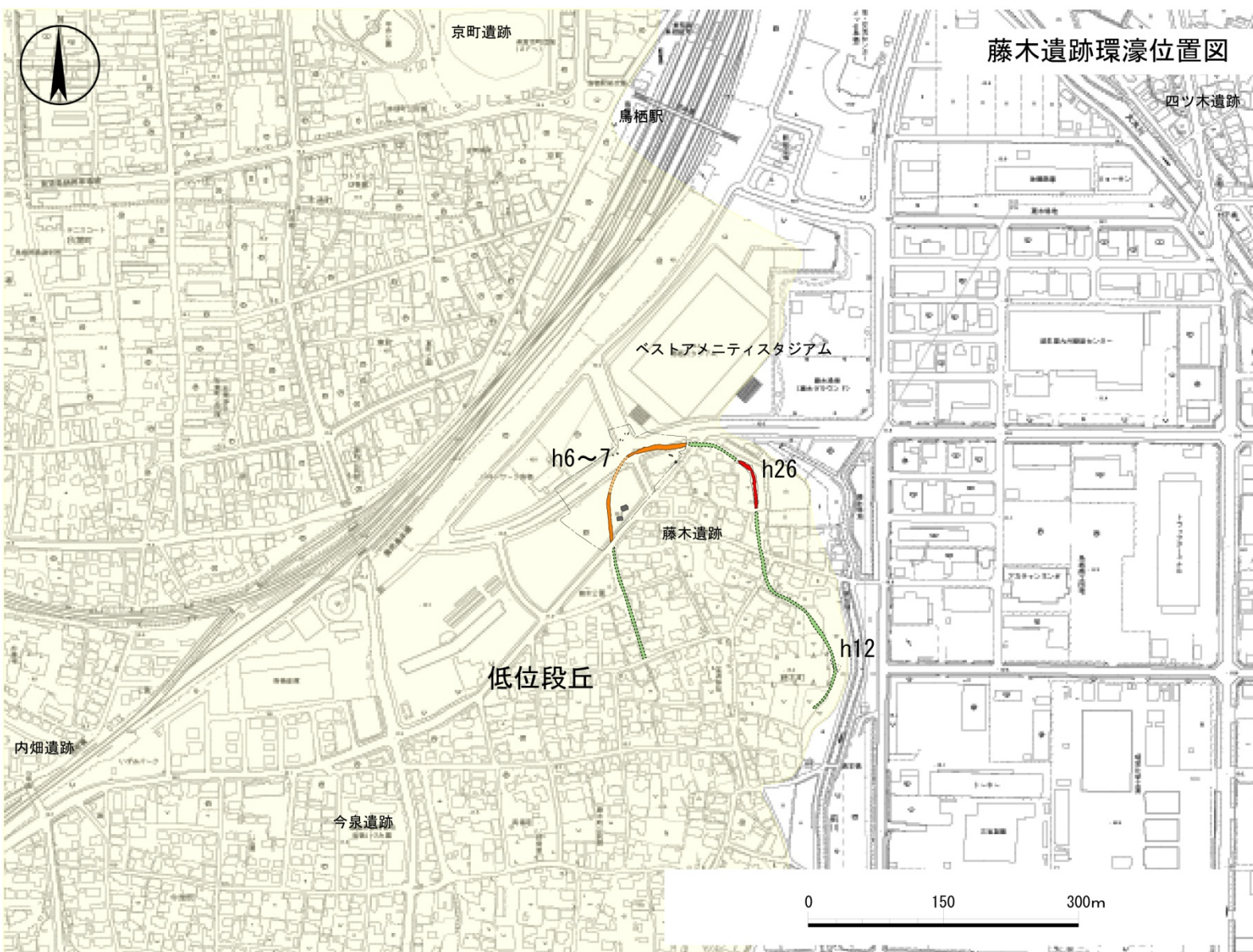
【調査の概要】

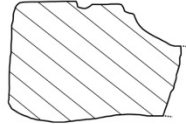
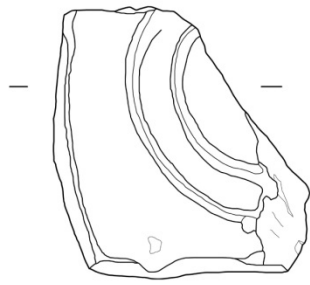
前川右岸の標高約14mの低位段丘上に立地し、現況で畑として利用されていた。周辺では、鳥栖駅東区画整理事業等に伴い本調査を実施しており、弥生～中世の集落跡、墳墓跡を確認している。

今回の調査では、平成6年度に確認された溝の続きが検出され、現在の藤木町集落を囲むように環濠集落が展開していたことが判明した。対象地区は当時の推定面から1/2以上が削平されているものとみられ、現状で幅は2～3m、深さは1m程度である。

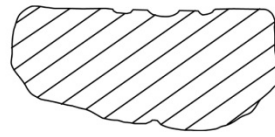
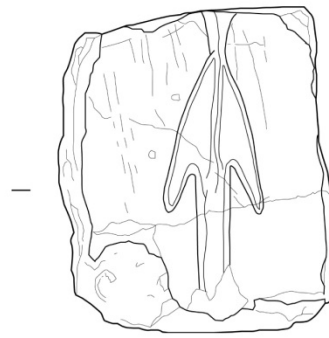
遺物は、土器や石器、鉄器が出土しているが、これらに混じって青銅器石製鋳型が銅釦1点、銅鏃2点、銅釧1点の計4点が出土した。石材はいずれも灰白色の石英長石斑岩である。



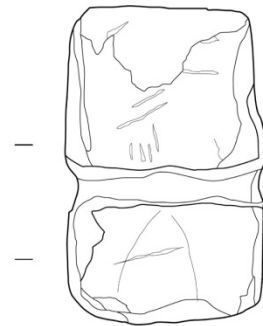
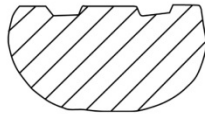
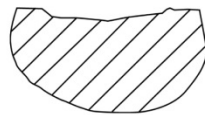




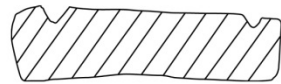
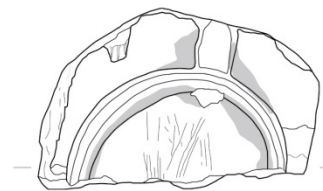
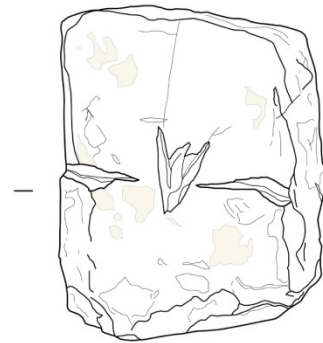
銅釵鑄型



銅鏃鑄型 2



銅鏃鑄型 1



銅釵鑄型

平成25年度市内遺跡確認調査位置図



2. 平成26年度事業計画

(1)調査

- ① 市内各地に分布している埋蔵文化財について、開発に際し事前の確認・試掘調査を実施して開発との調整を図り、その保護に努める。
- ② 開発に伴う緊急発掘調査を内畑遺跡(元町)、姫方遺跡(姫方町)で実施して記録の保存を図る。また、昨年調査を実施した藤木遺跡の整理を行い、報告書を作成・刊行する。
- ③ 文化資源充実事業については、調査手法の検討を進め、可能なところから調査や資料の収集を行う。

(2)保護・管理

- ① 文化財の保存管理として、国・県・市指定文化財を中心に史跡・民俗芸能等に対し、所有者や地元団体に委託あるいは補助金の交付を行うとともに、道具類の補修・新調に対する補助を必要に応じて行い、これらの保存に努める。
- ② 史跡等の保安全管理について、下草刈りや雑木の伐採、あるいは案内板の点検等を適時行い、見学者の利便を図る。
- ③ 過去の調査で出土した遺物類や記録、あるいは市誌編纂事業の過程で収集した資料の取り扱いについて、整理を進めるとともに、保存活用方法の検討を行う。

(3)啓発・普及

- ① 田代太田古墳・ハーガンサン古墳・268号機関車等の一般公開、勝尾城筑紫氏遺跡の見学会等の開催、小中学校における総合的な学習の支援、一般向けの出前講座等により、広く郷土の歴史・文化や文化財の周知・理解に努める。
- ② 文化財成果展を6月18日～7月4日に鳥栖市立図書館で開催し、平成25年度に調査を実施した藤木遺跡、村田三本松遺跡の成果を展示公開する。
- ③ 市民を対象にした「鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座」「郷土資料講座」を開講する。歴史・文化講座は、「鳥栖の集落と交通」をテーマとして全8回の座学と現地見学を行う〈P10〉。郷土資料講座は、市内の古文書を教材として初心者コースと中・上級者コースを開講する。
- ④ 歴史と文化財を活かしたまちづくりを目指して、市民と協働した「ふるさと元気塾」を開講し、史跡ガイドの育成等に努める。

(4)勝尾城筑紫氏遺跡

- ① 史跡整備基本計画に基づき、葛籠城跡地区の公有地化を進めるとともに、整備箇所で遺構等の状況が不明だった部分について確認調査を実施する。
- ② 史跡の保安全管理と、葛籠城を中心に現況調査を行う。

平成26年度鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座年間計画

回	日時	内容	会場／集合
1	6月7日(土) 13:30~15:30	「宿村の成り立ちとくらし」 ■講師 高尾 平良 氏(鳥栖市文化財保護審議会)	若葉まちづくり 推進センター
2	7月13日(日) 13:30~17:00	「宿町を歩く」 (見学先)宿町周辺の史跡めぐり	鳥栖市役所 職員玄関前
3	8月2日(土) 13:30~15:30	「戦国仏教と村の成り立ち」 ■講師 高尾 平良 氏 (鳥栖市文化財保護審議会)	若葉まちづくり 推進センター
4	9月21日(日) 8:30~17:00	「寺町と福岡城を訪ねる」 (見学先)博多寺町、福岡城、筥崎八幡宮	鳥栖市役所 職員玄関前
5	10月18日(土) 13:30~15:30	「姫方村・原村の成り立ちとくらし」 ■講師 藤瀬 禎博 氏 (鳥栖市文化財保護審議会)	基里まちづくり 推進センター
6	11月16日(日) 13:30~17:00	「姫方町・原町を歩く」 (見学先)姫方町・原町周辺の史跡めぐり	基里まちづくり 推進センター
7	12月6日(土) 13:30~15:30	未定 ■講師 未定	未定
8	1月25日(日) 13:30~17:00	未定 (見学先)未定	未定